

生活

第2学年

竹原市立吉名学園

指導者 有松浩司・宮田亜矢

大きくそだて わたしの野菜い

1 単元及び児童生徒の実態について

目標

- ◎自分達で野菜を育てる活動を通して、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらの様子に気付くとともに、成長の過程で起こる様々な問題を自力で解決し、粘り強く最後までやり切ることができる。
(エ 活動を計画・推進する力, コ 挑戦する力・やり遂げる力)
- 野菜の成長について、写真を用いながら、簡単なプレゼンテーションを作って発表することができる。
(イ 技能, キ 表現する力)

第3章 内容

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。

単元について

本単元では、1年生で花やサツマイモを育てた経験を踏まえ、自分で育てたい野菜を選択し、栽培・観察・収穫を行うことを通して、野菜の成長や変化に気付くとともに、自分で活動を計画・推進し、粘り強く課題に取り組む力を育成することを主なねらいとしている。生活科は、YOSHINA 未来学の入門期に当たり、本校が目指す13の資質・能力の基盤を作る上で重要な役割を担っている。野菜を育てる中で生まれる様々な課題に目を向け、自分なりに解決法を探らせるとともに、失敗と再チャレンジを繰り返し経験させることで、ねらいとする力を育成することができる。また、「野菜収穫パーティー」など、野菜の成長を他者に発信する場を設けることで、ICT活用力やプレゼンテーションも育成することができる。

単元の系統性

- 第1学年：花やサツマイモをみんなで協力して育てる。
- 第2学年：自分で育てたい野菜を選択し、栽培・収穫を行う。
- 第4学年：地域の食材を調べたり栽培・収穫したりしてデイキャンプを行う。
- 第7学年：地域の特産物であるじゃがいもを栽培・収穫し、工夫して販売する。

他教科との関連

- 国語科
 - ・体験したことを、順序立てて話す。
- 道徳科
 - ・D(18) 動植物に優しい心で接する。

児童生徒の実態

本学級の児童は、1年生のときに、一人でアサガオを育てたりみんなでサツマイモを栽培・収穫したりする活動を体験している。一方で、自分一人で野菜を責任をもって育てるといった経験はほとんどなく、「家庭で野菜を育てたことがある」と答えた児童は7名中2名であった。また、4月に行った「1年生なかよし大きくせん」では、失敗を重ねながら何度も計画を変更し、再挑戦させたことで、少しずつではあるが、自分で活動を計画・推進する力、挑戦する力、やり遂げる力などが育ちつつある。しかし、まだまだ自己中心的に行動する児童が多く、見通しをもって活動を推進したり粘り強く最後までやり切ったりする力は不十分といえる。継続して課題解決に取り組ませていくことで、ねらいとする力の育成を図る必要がある。

2 指導について

(1) プロジェクト学習

「自分の力で野菜を育てよう」という課題を設定し、自分で育てたい野菜を選択させ、その野菜を継続的に世話をする活動を仕組む。野菜を育てる過程の中で、「どうやって植えるのか」「水やりはどの程度行うのか」「カラス対策はどうするのか」等、たくさんの課題が出てくると予想される。その都度、自分達で対策を考えさせ、実行させる。失敗や再挑戦を繰り返すことを通して、活動を計画・推進する力や挑戦する力、やり遂げる力を育成する。

(2) ICT活用

本単元では、主に一斉や個別の場面でICTを活用する。具体的には、電子黒板で写真や映像を映し出し、一見うまいっているように思える野菜作りも、実は多くの問題を抱えていることに気付かせる。また、野菜づくりの成果を発表する際は、プレゼンテーションソフトを活用し、写真を見せながら自分の体験したこと・考えたことを自分の言葉で話す場を設定する。

(3) 思考スキル・シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の3つのシンキングツールを活用する。

- ①イメージマップ……野菜作りに向けて、「やるべきこと」「やってみたいこと」を考える場面で用いる。
- ②マトリクス(表)……野菜を育てた経験を他者に伝える際に、どのような順序で話すかを考える際に用いる。
- ③PMI………お互いの発表を聞いて、良い点や改善点を話し合う際に用いる。

(4) SDGsの視点：15陸の豊かさも守ろう

野菜を育てる中で直面する害鳥(カラス)とのかかわりについて議論させる。一方的に排除する方法を選択すべきか、それとも害鳥も命あるものであることを踏まえ、共生する方法を選択すべきかについて考えることは、今後身近な陸上生物の存在を意識して生活する上で、貴重な経験となるはずである。正解のない答えを2年生なりに探らせることで、陸上生態系の保護や人間以外の生物との共生の在り方について考えさせたい。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①野菜の特徴，育つ場所，変化や成長の様子に気付いている。</p> <p>②野菜は生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p> <p>③野菜への親しみが増し，上手にお世話できるようになったことに気付いている。</p>	<p>①野菜の特徴などを意識しながら，育ててみたい野菜を選んだり決めたりしている。</p> <p>②野菜作りに向けて，必要な準備物・調査内容などについて考え，自分で活動を計画している。</p> <p>③野菜の育つ場所，変化や成長の様子に着目して，観察したり世話をしたりしている。</p> <p>④野菜やそれらをねらう別の生き物など，様々な生き物の立場に立ちながら，野菜を守る方法についてアイデアを出している。</p> <p>⑤育ててきた野菜のことや心を寄せて世話してきたことなどを振り返り，表現している。</p>	<p>①野菜の特徴，育つ場所などについて，本を読んだり他者に聞いたりして，進んで調べようとしている。</p> <p>②野菜のよりよい成長を願って，繰り返し関わろうとしている。</p> <p>③生き物に親しみや愛着をもったり，自分の関わりが増したことに自信をもったりしたことを実感し，生命あるものとして関わろうとしている。</p>

4 学習指導計画と評価計画（全22時間 本時10/22時間）

時	学習活動		ICT活用	シンキングツール	評価規準 (評価方法)
1	<p>●本単元の課題を知る。</p> <p>・様々な野菜の写真を見て，自分の力で育ててみたいという思いをもつ。</p> <p>・自分の育てたい野菜を選択する。</p> <p>・イメージマップを用いて，野菜作りの計画を立てる。</p>	自分の力で野菜を元気に育てよう！	一斉	イメージマップ	イ①② (行動観察，生活カード)
2 ～ 6 ・ 常時	<p>●計画に沿って，活動を進める。</p> <p>・校内の畑をチェックし，教頭先生に畑使用のお願いに行く。</p> <p>・野菜の育て方を図書室の本で調べる。</p> <p>・野菜の苗を観察し，ネーミングする。</p> <p>・野菜の苗を畑に植え，継続して観察や水やりに取り組む。</p>				イ②・ウ① (行動観察，生活カード)
7 ～ 9	<p>●野菜の栽培方法について議論し，実行する。</p> <p>・大きく育った野菜が倒れていることに問題意識をもつ。</p> <p>・他の畑と自分達の畑の写真を見比べて，支柱の有無などの違いがあることに気付く。</p> <p>・野菜作りの名人さんに方法を聞く。</p> <p>・教えてもらったことを活かして，野菜のお世話をする。</p>		一斉		ア①②③・ イ③・ウ②③ (行動観察，生活カード)
10 ～ 15 (本時 10 時間 目)	<p>●カラス対策について議論し，実行する。</p> <p>・映像を見て，カラスが野菜をねらっていることに気付く。</p> <p>・カラスを撃退すべきか，野菜をあきらめるべきか，それともカラスを傷つけないように野菜を守るか，考えを出し合う。</p> <p>・カラス対策のアイデアを出し合う。</p> <p>・必要な道具や準備物を話し合い，自分達のみでは実現が難しいことに気付く。</p> <p>・学校運営協議会で，必要な道具と材料を揃えるための予算を出してもらえようをお願いする。</p> <p>・自分の考えたアイデアを実行する。</p> <p>・アイデアがうまくいったかどうか検証し，修正を加える。</p>		一斉		イメージマップ

16 ～ 19	<ul style="list-style-type: none"> ●収穫した野菜をどうするか話し合う。 ・収穫した野菜をどうするか話し合う。 (自分で食べる? 家族にあげる? 力を貸してくださった運営協議会のみなさんをもてなそう!) ・野菜の調理法について調べる。 ・学習の成果を発表する準備を行う。(国語科と関連) (プレゼンテーション作成型学習) 	個別協働	マトリクス(表) PMI	ア①・イ⑤・ウ① (行動観察, 生活カード)
20 ～ 21	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜を収穫し, 計画に沿って調理したり成果を発表したりする。 ・野菜収穫パーティーを開く。 (成果の発表, 野菜の調理など) 	個別		イ⑤ (行動観察, 生活カード)
22	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り ・お世話になった方にお礼の手紙を書く。 ・一連の活動を振り返り, 新たに見つけた地域の良さや自己の成長等についてまとめる。 	一斉		ア③・イ⑤ (行動観察, 生活カード)

5 本時について

(1) 本時の目標

身のまわりの自然との共生を意識しながら, 自分達の野菜を守る方法について考えることができる。

(2) 本時の評価規準及びブルーブリック

評価規準	S(期待以上)	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する)
野菜やそれらをねらう別の生き物など, 様々な生き物の立場に立ちながら, 野菜を守る方法についてアイデアを出している。	野菜やそれらをねらう別の生き物も命あるものであるという認識をもち, 共生の必要性について友達に訴えている。また, その上で野菜を守る方法について, これまでの生活経験を踏まえながら, アイデアを5つ以上出している。	野菜やそれらをねらう別の生き物など, 様々な生き物の立場に立ちながら, 野菜を守る方法について, これまでの生活経験を踏まえながらアイデアを3つ以上出している。	野菜やそれらをねらう別の生き物など, 様々な生き物の立場に立ちながら, 野菜を守る方法についてアイデアを出している。	野菜やそれらをねらう別の生き物も, 命あるものだという認識がない。また, 野菜を守る方法を1つも考えられない。


(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 これまでの活動を振り返る。 ・一人一人野菜を育てたね。 ・名前も付けて, 大事にお世話したね。 ・茎が伸びたときは大変だったね。みんなで支柱を立てたね。 2 カラスが野菜を狙っているという事実を知る。 ・大変だ! カラスをやっつけないと…。 ・でもそれでいいのかな…。 3 本時の課題を確認する。	◇電子黒板にこれまでの活動の写真を映し出し, 活動を振り返らせる。 ◆カラスの映像や巣の写真を提示し, カラスが野菜をねらっていることを理解させる。 ◇昨年トウモロコシがすべてカラスに食べられた際の写真も提示し, 危機感をもたせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">カラスが野さいをねらっている! どうするかかんがえよう!</div>		


<p>4 カラスにどう対応するか話し合う。</p> <p>【案① カラスをやっつける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見張りを作って追い払おう。 ・巣を壊してしまおう。 ・そんなのカラスがかawaiiそう。だって…。 <p>【案② カラスにすべて野菜をあげる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは絶対に嫌だ。せっかく育てたのに…。 ・カラスがますます増えてしまうよ…。 ・少しだけなら分けてもいいんじゃない？ <p>【案③ 野菜を守る対策をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それならいいね。どんな方法があるかな？ ・みんなでいろいろなアイデアを考えよう。 <p>5 カラスから野菜を守る方法についてアイデアを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールの囲いを作る。 ・かかしを作る。 ・古いCDや空き缶をぶら下げる。 ・カラスのエサコーナーをそばに作る。 <p>6 考えた方法を実行するためにどんな準備が必要か考える。</p> <p>7 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>◇まずは自由に自分の思いついたことを説明させる。その中で、「カラスをやっつける」「カラスにすべて野菜をあげる」「カラスを特に攻撃せず野菜を守る対策をする」の3つの方法に焦点化し、どの方法がよいか議論させる。</p> <p>◇「カラスをやっつける」という意見に児童が傾いたときはカラスが雛にえさをあげている巣の写真を、「カラスに野菜をあげる」という意見に傾いたときはこれまでの活動写真を使ってゆさぶりをかけ、考えを広げさせる。</p> <p>◇人間の立場、カラスの立場双方から考えを広げさせ、共生する方法について考えさせる。</p> <p>◇イメージマップを使って、野菜を守る方法についてアイデアを広げさせる。</p> <p>◆様々な方法の中から、自分が取り組む方法を選択させる。児童からもっと対策方法を調べたいという声が上がれば、次時の課題とする。</p> <p>◇それぞれの対策が人間の立場、動植物の立場から本当にふさわしいかどうか簡単に検討させる。</p> <p>◇材料や用具等、必要なものについて考えを巡らせ、誰にお願いすればそれらの材料や用具を確保できるかを考えさせる。</p> <p>◇生活カードを基に振り返りを行わせる。</p>	<p>野菜やそれらをねらう別の生き物など、様々な生き物の立場に立ちながら、野菜を守る方法についてアイデアを出している。 (行動観察・生活カード)</p>
--	---	--

(4) 板書計画

6月23日(水) めあて カラスが野さいをねらっている！どうするかかんがえよう。





カラス



カラスの赤ちゃん

ねらっている！

きよねんもたべられた！

カラスをやっつける

- ・かawaiiそう・・・
- ・カラスも生きている

カラスたいさくをする

- ・カラスはそのまま
- ・野さいだけまろう！

カラスに野さいをあげる

- ・せっかくそだてたのに・・・
- ・野さいもかawaiiそう・・・

カラスをきずつけず、野さいをまもる！

バリアをつくる

カラスのえさコーナー

野さいをまもるさくせん

かかしをつくる

キラキラひかるもの

人の声のCD

(5) 準備物

- 写真教材 (カラスの写真, カラスの巣の写真, 畑の写真)
- 映像教材 (カラスが野菜をねらっている動画)
- 生活カード